

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉東小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しています。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果から見える本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、全国と比べて高いです。特に、話し言葉と書き言葉の違いといった「言葉の特徴や使い方」に関する内容、漢字や仮名の大きさ配列に注意して書くといった「言語に関する学習」の正答率が高い傾向を示しており、日頃の取組の成果がみられます。
- ・算数の平均正答率は、全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に、図形に関する問題の正答率が高く、日頃からの継続した取組の成果がみられます。一方で、割合を分数で表すといった「量の関係」に関する学習に課題がみられます。
- ・理科の平均正答率は、全国と比べてやや高いです。特に、実験器具の取り扱いに関連する問題や、実験結果に対して、自分の考えをもち、記述するといった問題などがよくできています。一方で、生物「昆虫の体のつくり」・物理「光の性質」に関する学習に課題がみられます。

■質問紙調査から見える本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」「朝食を毎日食べていますか。」「友だちと協力するのは楽しいと思いますか。」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の設問の回答に対して、よい傾向がみられます。
- ・課題となる項目
「新聞を読んでいますか。」「普段、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯電話やスマートフォンのゲームも含む。）をしますか。」の設問に対する回答に、課題がみられます。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・子どもたちが意欲をもって自ら学習に取り組むことができるよう、一人一台端末やデジタル教科書を日常的に使うなど、ICT機器を活用した授業づくりに取り組みます。
- ・子どもたちの考える力や表現する力を育てるため、国語や外国語の授業では、言葉を介して伝え合う活動をより多く取り入れます。
- ・算数では百分率の問題、理科では昆虫や光に関する問題など、以前に学習した内容でも、児童が苦手に行っている内容については、随時振り返りながら学習を進めていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・家庭においても、何かにチャレンジするといった経験をたくさん積ませてください。
- ・「家庭学習のすすめ」などを活用し、毎日時間を決めて学習する習慣がつくよう、励ましてください。
- ・スマートフォンやパソコン、ゲームやテレビなどは、家庭でのルールを決めましょう。
- ・その日の学校での出来事や学習したことなどについて、家族で会話をする時間をもちましょう。
- ・音読を聞いてあげたり、宿題を一緒に考えたりするなどして、時折、お子さんの学習に関わってあげてください。